

科目ナンバー： BC1093

授業コード： 2230100900

講義科目名称： 看護管理

英文科目名称： Nursing Administration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員			
◎恩幣宏美			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】
	前期	15時間
	【担当教員】	
	【氏名】	【研究室】
	◎恩幣 宏美	313
	実務経験のある教員が担当します。	
	【メールアドレス】	
	honbe@niigata-cn.ac.jp	
	【本学の科目区分】	
	専門科目	
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】	
	看護師課程	
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】	
	○ ◎ ○ ○	

到達目標	1. 看護管理学に対する知識を深め、マネジメントの内容や方法について説明できる。 2. 看護ケアのマネジメントで重要となる看護専門職の役割、機能、「看護実践」について説明できる。 3. 医療安全の基本的な考え方とスキル、看護師の役割について説明できる。 4. チーム医療における看護専門職の役割、他職種との協働・連携について説明できる。 5. 対象者のプライバシーや個人情報を保護するための情報管理、看護実践を証明する記録およびデータ活用の重要性について説明できる。 6. 看護専門職として自律したキャリアを進めるために必要な基礎知識とスキルを理解できる。 7. 多様な看護職が働き続けるために必要な健康管理と労働環境、ダイバーシティマネジメントを理解できる。 8. 看護における質評価と保証、その必要性、質改善で必要となる知識を理解できる。 9. 組織内の人材マネジメントについて理解し、その知識を就職活動の準備で活用できる。 10. 組織内でのリーダーシップの役割と重要性、心理的安全性を説明できる。
------	---

授業概要	組織内で質の高い看護サービスを提供する看護専門職として働く上で必要となる看護管理に関する基本的知識とスキルを、講義や演習、グループワーク等を通して学ぶ。本講義では質改善に向けた組織づくりで有用である「心理的安全性」および患者安全で重要なノンテクニカルスキルである「team STEPPS」という最新の知見を学ぶ。そのため、教科書以外にも様々な関連書籍から看護管理に関する知識とスキルを紹介する。
------	---

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ポートフォリオ、社会人基礎力、看護管理の概念 学修内容：看護管理学とは、マネジメントとは、社会人基礎力とは 事前学修：必携図書（p2～9、p18～21）を読む。 事後学修：講義資料に記載されている必携図書の該当ページを読み、理解を深める。 備考：
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護ケアのマネジメント(1) 学修内容：看全管理のしくみ、医療事故対策、リスクマネジメント、日常起こりうる事故と防止策、Team STEPPS 事前学修：必携図書（p25～43、p115～119）を読む。 事後学修：講義資料に記載されている必携図書の該当ページを読み、理解を深める。 備考：
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護ケアのマネジメント(2) 学修内容：看護業務と看護実践の違い、看護提供方式、優先順位の決定、多重課題への対応、チーム医療における看護職の役割 事前学修：「必携図書（p93～98）を読む。 事後学修：講義資料に記載されている必携図書の該当ページを読み、理解を深める。 備考：
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護ケアのマネジメント(3) 学修内容：情報の活用と管理、看護記録、クリニカルパス

	事前学修：必携図書（p54～59、p128～131）を読む。 事後学修：講義資料に記載されている必携図書の該当ページを読み、理解を深める。 備考： 5 授業内容 授業形態：講義 学修課題：マネジメントに必要な知識と技術 学修内容：組織論、リーダーシップ、心理的安全性、変化と変革 事前学修：必携図書（p80～93、p144～168）を読む。 事後学修：講義資料に記載されている必携図書の該当ページを読み、理解を深める。 備考： 6 授業内容 授業形態：講義 学修課題：マネジメントに必要な知識と技術 学修内容：組織論、リーダーシップ、心理的安全性、変化と変革 事前学修：必携図書（p80～93、p144～168）を読む。 事後学修：講義資料に記載されている必携図書の該当ページを読み、理解を深める。 備考： 7 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護職としてのセルフマネジメント 学修内容：看護職の健康管理と労働環境 事前学修：必携図書（p74～78、p104～112）を読む。 事後学修：講義資料に記載されている必携図書の該当ページを読み、理解を深める 備考： 8 授業内容 授業形態：講義 学修課題：組織としての看護サービスのマネジメント 学修内容：人材育成、人材フロー 事前学修：第必携図書（p66～73、p98～p104）を読む。 事後学修：第8回講義までの学修内容を振り返って、看護職一人ひとりが行うマネジメントと看護組織によるマネジメントの関係を説明する。 備考：
評価方法、評価基準	レポート20%と試験80%で、到達目標1～10の達成度を評価する
必携図書	上泉和子，小山秀夫，笈淳夫，鄭佳紅(2024)：系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理(第11版)，医学書院
参考図書・資料等	必要に応じて適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	20分以上の遅刻および途中退出は欠席として扱う 講義時に使用するプレゼンテーションファイルは配付しない
教員からのメッセージ	看護管理は管理者(リーダー)ではなくても、今後、組織内で看護専門職としてキャリア発達しながら活躍する皆さんにとって重要な内容となります。そして、就職活動にも活かせる知識とスキルにもなりますので、積極的な学習を望みます。
オフィスアワー	メールにて事前予約をお願いします。